

令和5年度第8回 市政懇談会（会議要旨）

日時	令和5年10月25日（水） 18時30分 ～ 19時30分
場所	市長応接室
テーマ	企業支援の在り方について
出席者	<ul style="list-style-type: none"> ○ 篠崎市長 ○ 長州四団体連絡協議会（4名） 宇部商工会議所青年部 会長 一般社団法人 宇部青年会議所 理事長 若き経営者の会 会長 くすのき商工会青年部 部長 ○ 総合政策部長・次長、産業経済部長・次長、広報広聴課
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市ではDX化や健康経営に関する支援など様々な企業支援制度を準備しているが、活用したことはあるか。また、どのような支援が必要と考えているか。（市長） 中小企業に対する経済支援メニューは約40種類ある。（産業経済部長） →実際に支援制度を利用したことはない。支援制度を検討する時間がないのが正直なところ。真に必要な支援のみを残すなど見直しが必要ではないか。（青年会議所理事長、商工会議所青年部会長） →多くのメニューよりも、市として成長させたい分野を決めて、ターゲットも絞り、支援金額が多い制度の方が企業にとって興味も沸くし、より効果的なのではないか。（青年会議所 理事長） →新しいことに挑戦するための支援があっても、人材が確保できなければ手が付けられない。（若き経営者の会 会長） →DXを活用すれば生産性が上がることは分かっているが、色々なところが用意している支援の選択肢が多すぎて何を活用してよいか迷う。（商工会議所青年部 会長） →企業支援については、選択と集中を意識して取り組みたい。（市長） ○ ANAクラウンプラザホテルが来年3月で営業を終了すると発表されたが、今後、大規模な会議や催事がある場合、会場の確保が困難となる。（くすのき商工会青年部部長） →コンベンションホールの確保は重要な課題と考えている。関係機関と連携しながら、現在の状況について情報収集・共有し、今後の対策を探っていく。（市長） ○ マンパワー不足に対する支援に関して良いアイデアはないか。現在、市内に就職する人に、奨学金返還を支援する制度を考えている。（総合政策部長） →宇部市に人を呼ぶきっかけにはなるのではないか。中小企業の人材確保につながるかは疑問だが、宇部市に戻りたいと思う人が増えれば中小企業にも波及するかもしれない。（若き経営者の会 会長）

	<p>○ 市では企業の魅力を発信するため企業情報ナビを開設し、高校教員にもPRしている。若者は仕事よりプライベートを充実させたい傾向が強く、転職を恐れていないと感じているので、雇用した人を離職させない取組が必要ではと考えている。(産業経済部長)</p> <p>→人材確保ができるよう企業の魅力を発信することは、とても難しい。以前はハローワーク等に求人を出していたが、応募が少ないので今は出していない。(青年会議所理事長)</p> <p>→自分達の世代は、20歳になったら働かなければならないと考えていた。働くことに対する意識が異なるのではないか。今の世代は情報が溢れ、選択肢も多く、起業する人も増えている。(若き経営者の会 会長)</p> <p>○ 市では事業承継に関心を持っている。アンケート等で不安に思われている企業があることは把握しているが、どの企業が事業承継を検討しているか具体的な情報がない。何か良いアイデアはないか。(産業経済部長)</p> <p>実際に事業承継を検討している企業は、その意思表示をすれば企業の信用問題に関わる可能性があるため、なかなか意思表示ができないという事情もあるのではないか。(市長)</p> <p>→今の時代、自分の仕事や会社を子どもに継げという親は少ないのではないか。事業を存続したいと考えている企業はどのくらいあるのだろうか。新規で事業を立ち上げたい人にとっては、事業を承継の方がハードルが低いのではないか。マッチングできるならおもしろい。(若き経営者の会 会長)</p> <p>→自分は、現在の会社を従業員立場から事業承継したが、新規に従業員を採用した際、資格取得や寮の確保等で経費がかかった。そのような経費に対する支援があれば助かる。(くすのき商工会青年部 部長)</p> <p>→就職者を対象とした資格取得等に係る経費を企業に助成する仕組みを検討したい。(市長)</p>
--	---